

平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年1月11日

上場会社名 株式会社エディア 上場取引所 東
 コード番号 3935 URL http://www.edia.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)原尾 正紀
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)柏原 聡 (TEL)03(5210)5801
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の業績 (平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	562	△47.7	△271	—	△278	—	△311	—
29年2月期第3四半期	1,075	14.5	63	△48.3	49	△59.7	△19	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	△86.64	—
29年2月期第3四半期	△5.92	—

(注) 1. 平成30年2月期第3四半期及び平成29年2月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

2. 当社は平成29年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	1,390	1,041	74.9
29年2月期	1,168	733	62.7

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 1,040百万円 29年2月期 733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年2月期	—	0.00	—		
30年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の業績予想 (平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	750	△45.0	△500	—	△500	—	△550	—	△137.80
	～850	～△37.7	～△400		～△400		～△450		～△112.74

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は平成29年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っており、業績予想の「1株当たり当期純利益」については当該株式分割後の発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期3Q	3,991,200株	29年2月期	3,432,800株
② 期末自己株式数	30年2月期3Q	一株	29年2月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期3Q	3,591,031株	29年2月期3Q	3,264,748株

(注) 当社は平成29年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っており、期末発行済株式数、期末自己株式数並びに期中平均株式数は、当該株式分割が前会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社を取り巻く環境におきましては、平成28年3月末の携帯電話契約数におけるスマートフォンの契約数は7,715万件となり、平成30年度には1億件を超えることが予想されており、今後もスマートフォンの契約台数は増加するものと予想されます(株式会社MM総研調べ、平成29年2月現在)。

また、モバイルコンテンツ市場としては、平成28年度は1兆8,757億円(対前年比120%)、中でもスマートフォン市場は1兆8,047億円(対前年比123%)と成長を続けており、スマートフォン市場の内、ゲームが1兆1,836億円(対前年比123%)と非常に大きな割合を占めております(一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調べ、平成29年7月現在)。

このような事業環境の中、当社ではスマートフォンコンテンツを今後の成長事業と捉えて引き続き注力しております。

ゲームサービスにおきましては、11月に株式会社サンリオウェブとの共同プロジェクトによる新規タイトル『ハローキティのドコカナアルカナ』の配信を開始し、「サンリオピューロランド」「ハーモニーランド」付近限定で特別なゲーム内アイテムが入手できるイベントを同ゲーム内で開催するなど、位置情報を活用したリアル連動イベントを行いました。今後もゲーム内にとどまらず、よりユーザーの皆様にお楽しみ頂ける様々な施策を積極的に展開する予定であります。

また、次への成長に向けた新規案件として、当社が培った位置情報技術とキャラクターゲーム開発・運営のノウハウを融合させた位置情報ゲーム『マップラス+カノジョ』、人気ゲーム「BALDR」シリーズを初めてスマートフォン・オンラインゲーム化する『BALDR ACE』、株式会社エンバウンドがプロデュースする地域共生・活性クロスメディアプロジェクト「温泉むすめ」のキャラクターを融合させたスマホゲーム『温泉むすめ ゆのはなこれくしょん』の開発に注力しております。

その他、公式YouTubeチャンネル『Edia Game CH』を開設し、当社が運用するタイトルの紹介や、新作情報の配信を開始しました。

なお、既存タイトルにつきましては、想定を下回る売上で推移していましたが、様々な施策を行い、売上が改善する兆しがみられたものの、大幅な改善には至りませんでした。新規タイトルにつきましては、当第3四半期末にリリースし、初動を勘案した結果、想定していた売上額を計上する事が出来ませんでした。また、当期中にリリースを予定していた2タイトルの内、1タイトルについては新技術の開発における工数が想定よりも大きく上回ったこと、ゲーム機能の拡充やクロスメディア展開、リアルイベントの実施を行うことを決定した為、リリース時期を翌年度に変更し、もう1タイトルにつきましても、クオリティアップによる仕様変更でリリース時期を翌年度と変更することとしました。

ライフエンターテインメントサービスにおきましては、App Store、Google Play向け本格ナビゲーションアプリ『MAPLUS+声優ナビ』で、リアルイベントとのコラボを積極的に行い、メディア露出・知名度向上に注力しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は562,721千円(前年同四半期比47.7%減)、営業損失は271,041千円(前年同四半期は63,789千円の営業利益)、経常損失は278,054千円(前年同四半期は49,069千円の経常利益)、四半期純損失は311,152千円(前年同四半期は19,345千円の四半期純損失)となりました。

なお当社はモバイルインターネットサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して222,112千円増加し、1,390,681千円となりました。その主な要因は、関連会社株式が200,000千円、無形固定資産が167,517千円増加したものの、現金及び預金が83,556千円、売掛金が56,664千円減少したことによりです。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較して86,015千円減少し、349,335千円となりました。その主な要因は、賞与引当金が14,294千円増加したものの、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が100,494千円減少したことによりです。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して308,128千円増加し、1,041,346千円となりました。その主な要因は、EVO FUND等による新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ309,461千円増加したものの、四半期純損失を311,152千円計上したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の業績見通しにつきましては、平成29年4月13日公表の「平成29年2月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表いたしました通期の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(平成30年1月11日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	791,963	708,407
売掛金	176,543	119,879
原材料及び貯蔵品	58	48
前払費用	9,758	17,229
未収入金	211	225
未収還付法人税等	4,347	—
未収消費税等	—	23,382
繰延税金資産	20,825	—
その他	18	—
貸倒引当金	△124	△81
流動資産合計	1,003,601	869,092
固定資産		
有形固定資産	13,788	14,208
無形固定資産		
ソフトウェア	77,081	107,847
ソフトウェア仮勘定	37,483	174,235
無形固定資産合計	114,564	282,082
投資その他の資産		
関係会社株式	—	200,000
その他	36,614	25,298
投資その他の資産合計	36,614	225,298
固定資産合計	164,967	521,589
資産合計	1,168,569	1,390,681

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	52,179	61,743
1年内返済予定の長期借入金	133,992	111,760
未払金	53,899	45,484
未払費用	4,929	5,565
未払法人税等	3,674	6,860
未払消費税等	5,561	—
預り金	5,889	7,457
賞与引当金	7,970	22,265
情報利用料引当金	7,081	6,287
流動負債合計	275,177	267,423
固定負債		
長期借入金	160,174	81,912
固定負債合計	160,174	81,912
負債合計	435,351	349,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	481,710	791,171
資本剰余金	471,710	781,171
利益剰余金	△220,203	△531,355
株主資本合計	733,217	1,040,987
新株予約権	—	358
純資産合計	733,217	1,041,346
負債純資産合計	1,168,569	1,390,681

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	1,075,192	562,721
売上原価	499,973	331,745
売上総利益	575,218	230,975
販売費及び一般管理費	511,429	502,017
営業利益又は営業損失(△)	63,789	△271,041
営業外収益		
受取利息	10	17
受取配当金	0	0
その他	202	96
営業外収益合計	213	114
営業外費用		
支払利息	1,065	1,350
株式公開費用	12,865	—
新株予約権発行費	—	5,776
その他	1,002	—
営業外費用合計	14,934	7,126
経常利益又は経常損失(△)	49,069	△278,054
特別損失		
減損損失	63,296	—
特別損失合計	63,296	—
税引前四半期純損失(△)	△14,227	△278,054
法人税、住民税及び事業税	5,118	1,720
法人税等調整額	—	31,377
法人税等合計	5,118	33,097
四半期純損失(△)	△19,345	△311,152

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)

株主資本の著しい変動

当社は、平成28年4月15日付で東京証券取引所マザーズに上場し、平成28年4月14日を払込期日として、一般募集(ブックビルディングにより募集)による新株式160,000株の発行を行いました。また、平成28年5月20日を払込期日として、株式会社SBI証券が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式36,400株の発行を行いました。さらに、第1四半期会計期間において新株予約権の行使が行われ、新株式14,800株の発行を行いました。

その結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ149,591千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が474,591千円、資本準備金が464,591千円となっております。

当第3四半期累計期間(自平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)

株主資本の著しい変動

当第3四半期累計期間において、EVO FUND等より新株予約権の行使が行われております。

この結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ309,461千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が791,171千円、資本準備金が781,171千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社はモバイルインターネットサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。